

天橋だより 2026/冬号

☆オンライン朗読会「短詩の春」は2月23日（祝）19時より行います。
出演者、スタッフには別途詳細をお知らせいたします。



☆プロジェクト活動（予告）

創作童謡の「黄金のあみ」（下田喜久美代表）は2026年2月11日（祝）に大阪のココプラザで「黄金のあみコンサート」を開催します。





☆日本語朗読（稻葉妙恵代表）はきたる1月10日（土）にハートピア京都の視聴覚室で「第13回美しい日本語で詩を読む会」を開催しました。次回は7月4日（土）に行います。お題は「かばん」参加者は詩を3月10日までに事務局まで提出ください。

新刊案内

☆イタリア詩人ジュゼッペ・ボヴァ詩集『光の分流（えだながれ）』は二月発売予定です。冊子希望は事務局まで。以下は序文より。

ボヴァはこう言い切る。「俺達を駆り立てる原動力は、既に獲得した地位の強化にとどまることはできない。それは、あらゆる形式的秩序の解体、当然視されてきたものの再生へと至り、俺達の失われたドラマであり続ける、あの新しく、鮮やかで、二度と繰り返されることのない啓示を獲得しなければならない。」

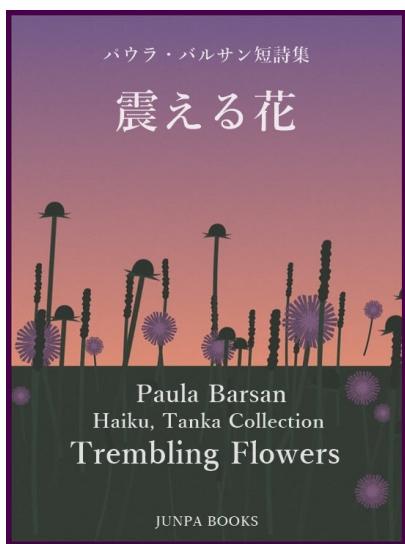
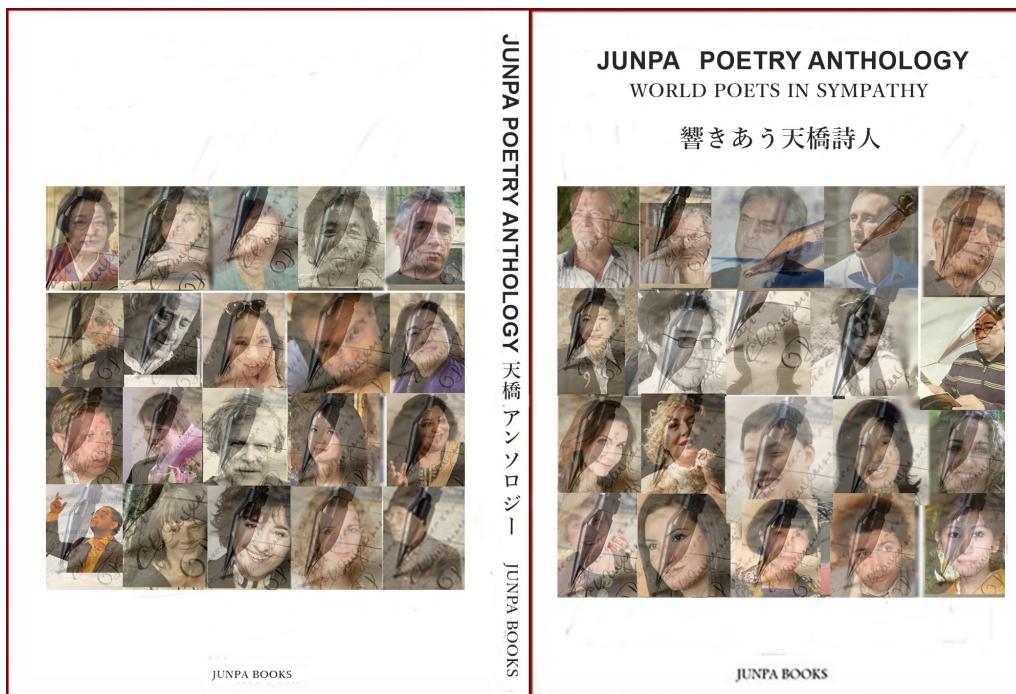
☆ガブリエル・ローゼンストック短詩集『三友花（サンユウカ）』

俳句、短歌をアイルランド語、英語、ギリシャ語、日本語でまとめました。サンユウカはインド由来の花で風車花とも云われています。アイルランド詩人ガブリエル・ローゼンストックはインドをはじめアジアを愛し、多くの作品を書かれています。彼の翻訳チーム（サラ、すみくら）が友情の証として既発表作品をとりまとめました。

☆クプリヤノフ詩集『虚栄の黄昏』

過去の詩「狼の歌」「虎の歌」をはじめ新作も所収しています。連絡が取れましたので、最近の作品を送っていただきました。

天橋アンソロジーは3月刊行です。



☆短詩アンソロジーの参加者です。
ルーマニアのパウラ・バルサンです。戦火に震
える花のイメージです。乞うご期待。
エクセレント20にも選ばれています。

☆会費の納入方法

2025年度の会費 5000円は下記まで納入いただけますようお願いします。

ゆうちょ銀行	京都中央信用金庫
ゆうちょ銀行間同士 【記号】14400 【番号】44671231 他行から振込みの場合 【店名】四四八（読み ヨンヨンハチ） 【記号】14400 【種目】普通 【口座番号】4467123 【名義】日本国際詩人協会	【支店名】丸太町支店 【店番】032 【口座番号】0701217 【名義】日本国際詩人協会
ペンネームと振込名が違う場合、入会金、他の代金、また前年度未納分と一緒に振り込まれる際には明細をご一報ください。	同左

発行日 2026/2/1 事務局：引越などで郵便物が届かない場合は新連絡先を事務局にお知らせください。あて先は

〒602-8148 京都市上京区西丸太町185-801

日本国際詩人協会事務局 E-mail sumikura@grace.ocn.ne.jp